

高 石 市

“健幸”のまちづくりをめざして
～ふれあいゾーン複合センターの再編について～

はじめに

高石市立ふれあいゾーン複合センターは、1階に障害者福祉センター、2階に婦人文化センター、温水プールの機能を備えた複合施設で、昭和62年2月に建設されました。

市民に広く利用され、文化・スポーツの振興、福祉の増進、地域コミュニティ形成に大きく寄与してきましたが、建設から20年以上が経過し、施設の老朽化や、管理的経費が高水準にあり、市の財政にとって大きな負担となっていることなどが問題となっていました。

その一方で、市民の健康志向は高まっており、市内でもウォーキングやジョギングをする市民の姿が多く、健康づくりの推進についての方向性が見えてまいりました。

このため、平成20年2月に策定いたしました第四次高石市財政健全化計画案に基づき、市民が身近に公の施設を利用できる環境をできる限り維持することを基本としつつ、公の施設のあり方について検討を進め、次のように再編することに決定いたしました。

公の施設のあり方検討結果案の概要

・温水プール、婦人文化センター大会議室

利用頻度の低い婦人文化センター大会議室をマシンジム及びフィットネススタジオに改修し、既存のプールとあわせて、市民の総合的な健康増進の場となる「高石市ふれあい健康増進センター」として再編する。

・婦人文化センター

施設の設置目的に沿った利用実態となっていないことから廃止し、大会議室を除くスペースを障害者福祉センターの新たな取組のために使用する。

・障害者福祉センター

障がい者の自立と社会参加をめざす施設として存続させるとともに、新たに市内に点在する小規模作業所等に貸与し、障害者福祉施設の拠点となる「障がい者ふれあいプラザ」として整備する。

また、「高石市ふれあい健康増進センター」の運営業務、ふれあいゾーン複合センターの施設維持及び管理業務については、指定管理者制度を導入し、民間事業者の運営ノウハウによる市民サービスの向上や施設管理の一体化等による維持管理経費の縮減を図ることとしました。

以上のように決定し、平成22年6月からふれあいゾーン複合センター再編の工事に着手いたしました。

リニューアルオープンについて

改修工事を終え、ふれあいゾーン複合センターは、温水プールのほかに新たに健康増進ルーム（マシンジム及びフィットネススタジオ）を備えた「ふれあい健康増進センター」（愛称：スポラたかいし）と、「障がい者ふれあいプラザ」として、平成22年9月にリニューアルオープンいたしました。

「ふれあい健康増進センター」（愛称：スポラたかいし）におきましては、今後、温水プール・マシンジム・フィットネススタジオの一般利用をはじめ、専門スタッフによる指導や水泳教室、スタジオでの



ふれあい健康増進センター
補修後の温水プール



ふれあい健康増進センター
新設のマシジムと
フィットネススタジオ（後方）

各種講座を開設し、低料金で市民の健康づくり、体力づくりを支援する施設として運営してまいります。

おわりに

現在、本市では健康増進センターの整備のほか、市民が安全・安心にウォーキングやジョギングを楽しめるよう、芦田川や南海中央線の整備を進めております。

このように、今後、市民一人ひとりが、家庭や地域において健康で幸福に暮らせる“健幸”のまちを目指し、生涯を通して主体的に健康づくりに取り組む仕組みの充実や、平坦でコンパクトな本市の特性

を活かし、散歩しやすい歩道や景観豊かな道路、さらには休憩スポットなどを配置することにより、市民が自然とウォーキングやジョギングに取り組み、自ずと健康づくりにつながるような環境整備を行ってまいります。